

連絡会だより

浅瀬石川ダム流域水道水源保全連絡会

○平成23年度浅瀬石川ダム流域水道水源保全連絡会 平成23年5月22日(月)

去る5月23日(月)、会長(鳴海黒石市長)出席のもと、平成23年度の連絡会を開催しました。

- ・平成22年度事業報告
 - ・平成23年度事業計画(案)
- 等について審議され、承認されました。



連絡会の様子 (津軽広域水道企業団企業団2階会議室)

○イワナ稚魚放流

7月12日(火)、浅瀬石川漁協、浅瀬石川ダム管理所、牡丹平公民館では地元の小学生を対象に津軽広域水道企業団樋門の排水出口周辺で、イワナの稚魚放流を行いました。



カジカがいきました



牡丹平小学校の児童がお手伝いしました。

○ダム湖ふれあいデー 7月24日(日)

黒石クリエート21実行委員会と、浅瀬石川ダム管理所が主催する「ダム湖ふれあいデー」が、ダムサイト公園や虹の湖公園などで開かれました。

津軽広域水道企業団で「水の飲み比べ」コーナーに293人の来場者がありました。

当連絡会でも「パネル展」のブースを設けました。



○クリーン作戦 平成23年10月4日(火)

玉田黒石市副市長挨拶



未だにたばこや空き缶などのポイ捨てが多く見られ、引き続き環境保全の意識向上の必要性を実感しました。

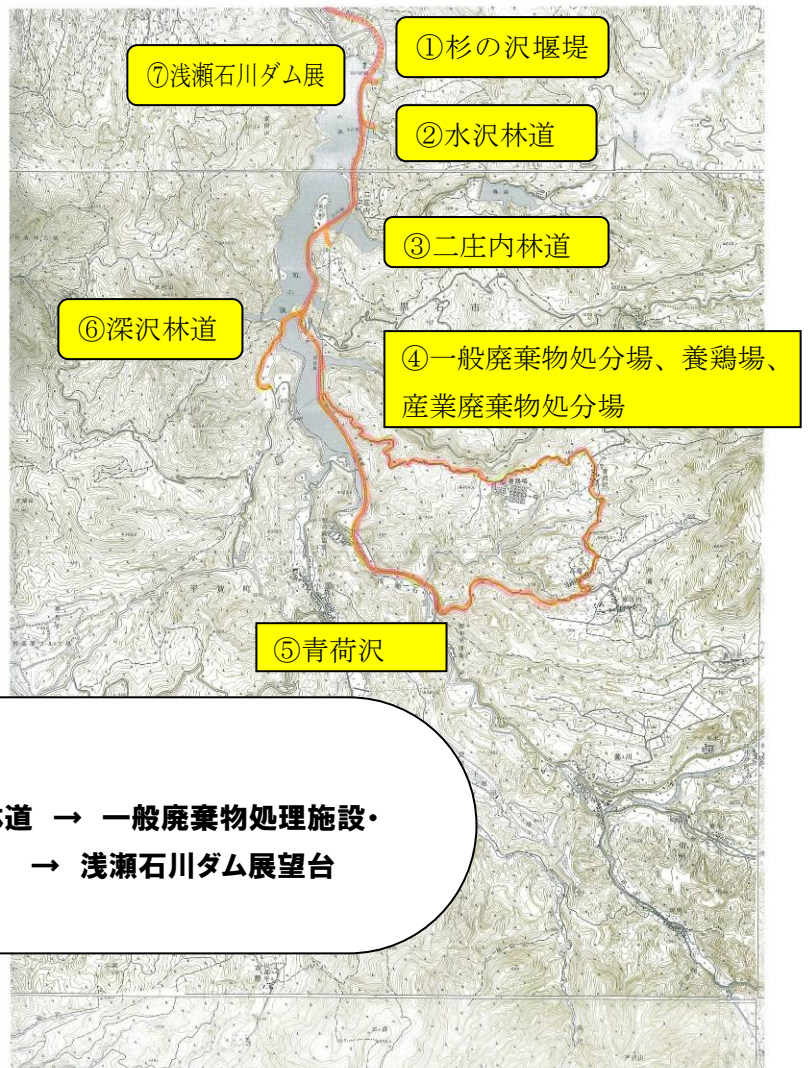
黒石市、黒石市環境衛生推進協議会主催の国道102号・国道394号のクリーン作戦に参加しました。当日は、お忙しい中多くの会員の方に参加していただきました。



○水源地パトロール 平成23年10月18日(火)

10月18日(火)、会長をはじめ多くの会員の参加がありました。

会長より「不法投棄はなかなかなくはないが、関係機関が連携し阻止していかなければならない。」とご挨拶がありました。



水源地パトロール 行程

杉の沢堰堤前 → 水沢林道 → 二庄内林道 → 一般廃棄物処理施設・養鶏場・産業廃棄物処理施設 → 深沢林道 → 浅瀬石川ダム展望台



パトロール終了後 根気よくパトロールを継続していくことを確認しました。

不法投棄ゼロ目指し

浅瀬石川 水源地パトロール



不法投棄現場を視察する一行

浅瀬石川ダム流域水道水源保全連絡会(会長 鳴海広道黒石市長)は18日、水源地パトロールを行った。参加者は過去に水源地で不法投棄があった現場を視察するとともに今後の保全対策について意見を交わし、不法投棄ゼロに向けて意識を新たにしました。

同連絡会は、水道水源保全に関する関係機関の連絡調整を図ることを目的に平成8年に発足。

浅瀬石川ダム管理所 津軽森林管理署 県健康福祉部保健衛生課

中南地域県民局地域連携部環境管理事務所 黒石警察署、浅瀬石川土地改良区、黒石市、平川市、津軽広域水道企業団などで構成し、水源の監視活動や緊急時のための連絡体制の整備、水源保全に関する調査、PR活動などを行っている。この日のパトロールには25人が参加した。

黒石市石名坂の津軽広域水道企業団で開会式を行い、企業団が22年4月から今年7月まで不法投棄の事案や河川の水質検査について浅瀬石川ダム管理所が

6月から設置した不法投棄防止の監視カメラの取り組みについて説明した。

このうち監視カメラは、ダム貯水池周辺は、不法投棄の未然防止を図ることが目的。カメラは24時間監視し、不審人物、車両などの映像を記録した場合は警察署に証拠として提出する。監視カメラの設置により不法投棄の数は例年に比べ減ったという。

説明の中で建築廃材や家電類など2件の不法投棄の事案の報告があり、カメラに映された不法投棄の疑わしい車両の画像を公開した。鳴海市長は「連携を密にし、取り組んでいきたい」と不法投棄ゼロに向けて意欲を新たに示した。

その後、バスで移動しながら過去に不法投棄があった現場を視察

全ての現場を訪れた後は水道企業団へ戻り、今後の水源地の管理、保全活動について意見を交わした。

杉の沢堰堤前や水沢林道、二庄内林道、虹の湖展覧場をパトロールし担当者から説明を受けた。

浅瀬石川ダム周辺の名水紹介



しちこ 百薬の清水処

ランプの宿として知られる青荷温泉に向かう途中、急カーブの辺りで斜面から湧水が流れている。

青荷温泉は、昭和6年に歌人、丹羽洋岳が住み付き開いた。全国的にも知られ、老若男女が多く訪れる。南八甲田連峰の櫛ヶ峰から流れる青荷溪流のほとりに、人里離れ、四方を山に囲まれてある。

事務局から

連絡会の活動、連絡会だよりの内容などご意見がありましたらおよせください。

事務局
津軽広域水道企業団津軽事業部
浄水課 浄水・水質チーム

Tel 0172-52-6033
Fax 0172-53-2983
Mail tugaru@tusui.jp